

◆医療法人慈孝会 福角病院◆ 院長 大森克介 先生

所在地：松山市福角町乙69-1 Tel：089-979-5561

開院：昭和58年4月1日

診療科：内科、リハビリテーション科

休診日：第2・3・4・5土曜日、日曜日、祝祭日

病床数：療養病床 84床、回復期病床 30床

診察時間	月	火	水	木	金	第1土
8:30 ~ 12:00	○	○	○	○	○	○
13:00 ~ 17:00	○	○	○	○	○	○



当院は松山市北部の山間に位置し、豊かな自然の中で療養することができます。平成19年以前の城北地域には回復期の病床がなく、地域に貢献したいという思いから回復期病床を開設し、リハビリテーションにも力を入れています。今年1月には病棟の建て替え工事が完了し、広々とした空間と大きな窓のある、明るく開放的な新棟が完成しました。

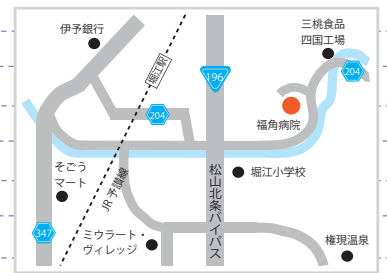


当院では、将来自分の家族を入院させたいと思えるような施設

づくりを目指しています。急性期の治療が終わった方ができるだけ在宅に戻れるように、また入院中も安らかに過ごしていただけるように心がけています。

松山市民病院は長年勤めていたこともあり、連携が取りやすいと感じています。患者さんが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、城北・北条地域との結びつきを大切にしながら、医療・リハビリテーションを提供してまいりますので、今後ともよろしく申し上げます。

松山市民病院は長年勤めていたこともあり、連携が取りやすいと感じています。患者さんが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、城北・北条地域との結びつきを大切にしながら、医療・リハビリテーションを提供してまいりますので、今後ともよろしく申し上げます。



天体シリーズ Vol.6 “輪廻転生”

●超新星爆発残骸の“かに星雲 (Crab Nebula : M1)”



Photo by Y.Yamashita with R200SS & Canon EOS 60D replaced filter & LPS-V3・FF

“かに星雲(Crab Nebula)”はオリオン座のすぐ上の牡牛座にある7千光年先の超新星爆発の残骸で、自宅から撮ったこの写真でも、フィラメント構造物がカニの足のようにも見えます。大質量の恒星はその一生を終えるとき大爆発を起こし突然、超新星として短期間増光します。その外層部は宇宙空間に飛散し、このような超新星残骸となり、中心部は巨大な重力に耐えきれず、原子核は重力崩壊し中性子星やブラックホールとなります。“かに星雲”の場合は直径20kmまで縮小し、1cmが10億トンもある超高密度の“中性子星”になっていることが確認されました。それは毎秒30回という高速自転をしており、30Hzの電磁波を出す代表的な脈打つ星（パルサー）でもあります。また、シャルル・メシエ天体カタログ(M1-M110)に最初に収録された“M1”としても有名です。さらに、この超新星は中国の『宋史』や日本の藤原定家の日記、『明月記』に客星として記録があり、1054年に出現したことが判明しました。その決め手は、彼が『明月記』に糊付けした“陰陽師に調べさせた過去の客星の報告文”に、その正確な天空の位置が記載されていたからです。元の資料は見つかっておらず、定家の「コピペ」のおかげで、貴重な記録の紛失を免れたのです。最近のあの話題とは大違いですね。

(写真・文／神経内科：山下順章)

お知らせ

INFORMATION

坊ちゃん劇場貸切公演

平成27年1月25日(日)、「財団法人永頼会」設立50周年の記念イベントとして行われました。職員および職員家族総勢257名が坊ちゃん劇場に会場し、ミュージカル「鶴姫伝説～瀬戸内のジャンヌ・ダルク」を観劇しました。



迫力ある歌声と臨場感あふれる演技で物語に引き込まれ、楽しい時間を過ごすことができました。

松山中央乳児保育園 新園舎完成

平成27年3月24日(火)、来賓の方々をお迎えし、落成記念式典・内覧会および祝賀会を開催しました。

新園舎は木造ならではのぬくもりが感じられ、ソーラーパネルや小型風車も備えられています。クリーンで快適な保育環境が整えられました。



当院は敷地内禁煙を実施しています。ご理解、ご協力をお願いします。